

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 株式会社 トラスト 上場取引所 東
 コード番号 3347 URL <https://www.trust-ltd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 賢司
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 野木森 直樹 TEL 052-219-9058
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	25,052	33.0	1,694	33.0	1,801	46.1	965	100.9
2022年3月期第3四半期	18,833	37.2	1,274	290.1	1,232	314.4	480	—

（注）包括利益 2023年3月期第3四半期 1,505百万円（86.8%） 2022年3月期第3四半期 806百万円（338.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	37.30	—
2022年3月期第3四半期	18.56	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	36,833	12,831	22.7
2022年3月期	33,612	11,629	22.7

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 8,343百万円 2022年3月期 7,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
2023年3月期	—	4.00	—		
2023年3月期（予想）				2.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,900	22.7	2,600	40.0	2,800	46.2	1,500	81.4	57.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	28,150,000株	2022年3月期	28,150,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,273,100株	2022年3月期	2,273,100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	25,876,900株	2022年3月期3Q	25,876,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(時価の算定に関する会計基準等の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナ時代の新たなステージへ向かって段階的に各種政策が進められる中、社会経済活動の制限が徐々に緩和され緩やかに景気が持ち直しつつあります。

しかしながら、ヨーロッパにおける地政学的リスクの継続とこれに対する各国制裁の影響や、世界的な金融市場の引き締めや物価の上昇等、世界経済は不安定な状況にあり、今後も懸念される景気後退要因に注視が必要であり、依然不透明な状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは、海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高25,052百万円(前年同期比33.0%増)、営業利益1,694百万円(前年同期比33.0%増)、経常利益1,801百万円(前年同期比46.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益965百万円(前年同期比100.9%増)となりました。

① 中古車輸出事業

東アフリカ地域を中心に需要は回復してきておりますが、近年では主要な国々において個人向けから業者販売へと市場が変化しつつあります。それに加え、半導体不足による新車減産の影響から中古車需要が高まるとともに、国内オークションにおける相場も高値で推移しており、当第3四半期連結累計期間における業界全体の輸出台数は、96万8千台(前年同期比1.4%増)となりました。

このような状況のなか、当社において主力販売先であるアフリカ地域の輸出台数は新型コロナウイルス感染症の影響以前の状況に回復しつつありましたが、地政学的リスクに備えた各国の金融施策や制限によりアジア地域をはじめとする一部輸出先への輸出台数が減少し、当社グループの輸出台数の合計は3,538台(前年同期比16.5%減)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高8,047百万円(前年同期比45.4%増)、営業利益353百万円(前年同期比483.0%増)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においては車輛の所有から利用への流れのなか、近年はレンタカー需要の高まりを受け事業者数及び登録台数ともに年々増加しております。新型コロナウイルス感染症の影響からも脱却し、市場規模はコロナ禍以前の様相を取り戻しております。

このような状況のなか、当社グループは、当期において直営店の札幌手稲店(北海道)を新規出店し、直営店及びF C店の総店舗数は184店、総保有台数は23,944台(前年同期比21.5%増)(※うち、Jネットブランドのみの店舗数は123店、保有台数は16,679台(前年同期比18.6%増))となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高11,434百万円(前年同期比17.7%増)、営業利益1,198百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、各種政策により新型コロナウイルス感染症対策としての制限は緩和され、現職大統領の再選が決定したことで、懸念されていた政治混乱もなく景気は回復傾向にあります。

同国内の自動車市場において2022年1-12月期の新車販売台数は52.9万台(前年同期比13.9%増)となりました。このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国で新たに店舗を追加出店し、スズキディーラー5店舗を運営しており、新車販売台数は合計2,200台(前年同期比52.1%増)、中古車販売台数は合計936台(前年同期比16.7%増)となり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年同期に比して、販売台数及び利益ともに業績は大幅に回復しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高5,847百万円(前年同期比56.0%増)、営業利益151百万円(前年同期比92.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.7%増加し、17,842百万円となりました。これはリース債権及びリース投資資産が1,453百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11.4%増加し、18,991百万円となりました。これは機械装置及び運搬具（純額）が1,668百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9.6%増加し、36,833百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14.2%増加し、19,861百万円となりました。これは短期借入金が1,840百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.7%減少し、4,139百万円となりました。これはリース債務が463百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて10.3%増加し、12,831百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを中心としたBtoC販売の拡充、継続的なBtoB販売先の新規開拓、部品販売の強化に加え、弊社グループ会社からの仕入ルート拡充等により売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては、さらに既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築するとともにお客様並びに店舗スタッフの新型コロナウイルス感染症予防対策の実施により安全・安心なサービスの提供をしてまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、既存店舗の収益改善を継続的に行い、売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

なお、2022年11月4日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,418,511	813,161
受取手形	41,815	67,977
売掛金	3,779,104	3,372,388
リース債権及びリース投資資産	7,415,826	8,869,664
商品及び製品	3,217,384	3,892,618
仕掛品	954	553
原材料及び貯蔵品	32,213	34,675
その他	859,372	987,666
貸倒引当金	△195,739	△196,551
流動資産合計	16,569,445	17,842,153
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	3,561,138	5,229,836
リース資産（純額）	6,981,632	6,632,765
土地	3,500,983	3,967,001
その他（純額）	1,919,927	2,163,351
有形固定資産合計	15,963,682	17,992,955
無形固定資産		
のれん	52,630	47,138
その他	72,881	79,642
無形固定資産合計	125,512	126,780
投資その他の資産		
その他	1,036,698	942,590
貸倒引当金	△83,002	△71,244
投資その他の資産合計	953,696	871,346
固定資産合計	17,042,890	18,991,082
資産合計	33,612,335	36,833,235
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	573,409	770,106
短期借入金	4,750,000	6,590,000
1年内返済予定の長期借入金	2,519	—
リース債務	9,677,557	10,920,412
未払法人税等	588,314	66,387
契約負債	487,708	464,512
賞与引当金	139,341	78,580
その他	1,179,288	971,392
流動負債合計	17,398,139	19,861,391
固定負債		
リース債務	4,408,633	3,945,632
役員退職慰労引当金	11,685	14,747
資産除去債務	75,922	80,635
その他	88,111	98,919
固定負債合計	4,584,352	4,139,934
負債合計	21,982,492	24,001,325

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	5,709,255	6,467,399
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	7,614,846	8,372,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,500	6,030
為替換算調整勘定	2,421	△35,952
その他の包括利益累計額合計	17,922	△29,922
非支配株主持分	3,997,074	4,488,840
純資産合計	11,629,843	12,831,909
負債純資産合計	33,612,335	36,833,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	18,833,434	25,052,696
売上原価	14,003,041	19,321,586
売上総利益	4,830,393	5,731,109
販売費及び一般管理費	3,556,387	4,036,717
営業利益	1,274,005	1,694,392
営業外収益		
受取利息	7,334	12,172
受取配当金	4,813	4,889
為替差益	32,462	178,579
その他	9,614	17,776
営業外収益合計	54,223	213,417
営業外費用		
支払利息	91,288	103,370
その他	4,370	3,408
営業外費用合計	95,658	106,778
経常利益	1,232,570	1,801,031
特別利益		
投資有価証券売却益	—	299,119
保険解約返戻金	—	17,867
特別利益合計	—	316,986
特別損失		
固定資産除却損	1,652	2,303
固定資産撤去費用	—	700
特別損失合計	1,652	3,003
税金等調整前四半期純利益	1,230,917	2,115,014
法人税、住民税及び事業税	409,705	488,968
法人税等調整額	1,872	72,420
法人税等合計	411,577	561,388
四半期純利益	819,340	1,553,626
非支配株主に帰属する四半期純利益	339,022	588,466
親会社株主に帰属する四半期純利益	480,318	965,159

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	819,340	1,553,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,767	△9,516
為替換算調整勘定	△10,566	△38,374
その他の包括利益合計	△13,334	△47,890
四半期包括利益	806,006	1,505,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	467,030	917,314
非支配株主に係る四半期包括利益	338,975	588,420

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,502,538	9,582,402	3,748,493	18,833,434	—	18,833,434
セグメント間の 内部売上高又は振替高	32,171	132,750	—	164,921	△164,921	—
計	5,534,709	9,715,152	3,748,493	18,998,355	△164,921	18,833,434
セグメント利益	60,691	1,144,369	78,591	1,283,652	△9,647	1,274,005

(注) 1 セグメント利益の調整額△9,647千円には、のれん償却額△4,640千円、棚卸資産の調整額△5,006千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,017,349	11,188,132	5,847,214	25,052,696	—	25,052,696
セグメント間の 内部売上高又は振替高	29,763	246,796	—	276,560	△276,560	—
計	8,047,113	11,434,928	5,847,214	25,329,256	△276,560	25,052,696
セグメント利益	353,838	1,198,325	151,203	1,703,366	△8,974	1,694,392

(注) 1 セグメント利益の調整額△8,974千円には、のれん償却額△4,679千円、棚卸資産の調整額△4,294千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。